



高知大学 (高知県)



地域・国際社会に貢献しうる人材育成と、学問・研究の充実・発展を推進

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

高知大学は、人文社会科学部、教育学部、理工学部、医学部、農林海洋科学部及び地域協働学部の6つの学部と土佐さがけプログラムからなる学士課程と、大学院総合人間自然科学研究科に人文社会科学専攻、教育学専攻、理学専攻、医科学専攻、看護学専攻、農林海洋科学専攻の6つの修士課程、応用自然科学専攻、医学専攻、黒潮圏総合科学専攻の3つの博士課程、および教職実践高度化専攻（教職大学院）で特徴的な教育・研究を行っています。

キャンパスは、高知市内の朝倉キャンパスと南国市の物部キャンパス及び岡豊キャンパスの3つがあり、日本語・日本文化研修留学生は、朝倉キャンパスに通います。

② 国際交流の実績（2020年5月1日現在）

大学間協定校－61機関（20か国・地域）
部局間協定校－30機関（18か国・地域）
コンソーシアム協定－1（6機関、2か国）

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績 （各年度5月1日現在）

2020年：留学生数108人、日研生01人
2019年：留学生数125人、日研生01人
2018年：留学生数140人、日研生00人

④ 地域の特色

高知県は、西日本に位置する四国の南部にあります。北は四国山脈がちなり、南は太平洋に面しています。年間を通じて暮らしやすい温暖な気候で、四季折々の豊かな自然を楽しむことができます。

地方文化にも恵まれています。自由民権運動発祥の地として、近代日本の形成に大きな役割を果たした土地でもあります。

高知市街には美しい鏡川が流れ、市内随所に歴史的な観光名所があります。

日本の主要都市からの所要時間は、空路を利用すれば大阪空港まで45分、東京（羽田）空港まで1時間20分です。そのほか、福岡、名古屋へも国内便があります。空路のほかにも、長距離バス、鉄道などが利用できます。

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

留学生科目として、「日本語」、「日本事情」の科目を履修するとともに、専門科目に関しては、「現代日本語読解研究」、「外国語としての日本語演習」等を履修することができます。また、基礎的な日本語力や日本文化などを広く学びたい留学生のためには、国際連携推進センターが開講している日本語総合コースの授業も受講できます。

日本語の自由な運用能力を習得するとともに、専門授業を通して多文化共生力を養うことができます。

③ 受入定員

2名（大使館推薦1名、大学推薦1名）

④ 受講希望者の資格、条件等

1) 日本語能力

日本語能力が日本国際教育協会が実施する「日本語能力試験」N1、N2またはこれと同等の日本語能力を有する者

※N2の者は渡日後、国際連携推進センター開講の日本語総合コース（単位不認定科目）を受講すること

2) 日本研究学習歴・専攻

日本語・日本文化に関する分野の専攻者

⑤ 達成目標

- ・日本語による討論と論文作成能力の習得
- ・母国では実施できない研究の遂行

⑥ 研修期間（在籍期間）

2021年10月1日 ～ 2022年8月31日
（修了式は2022年8月を予定）

⑦ 奨学金支給期間

2021年10月 ～ 2022年8月

⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬	渡日
10月	新入留学生オリエンテーション
11月	外国人留学生課外研修 留学生によるスピーチコンテスト 黒潮祭（文化祭）
1月	地域との交流活動
5月	地域との交流活動
6月	日本語講演会
8月	修了式
8月下旬	帰国

その他：

地域の国際交流団体などが主催する留学生向け各種イベントを紹介します（ホームステイ、着物着付け体験、紙すき体験など）。
地域住民と交流できるイベントにも参加できます。

⑨ コースの修了要件

- ・必修科目20単位、選択科目8単位を取得する必要があります。
- ・研究報告書作成並びに研究発表会
修了時には、「修了レポート」を提出し、指導教員の合格判定を得なければなりません。
- ・早期修了不可
- ・成績証明書の発行可

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

日本語能力の向上を図るとともに日本事情・日本文化に関する研修を行い、アカデミック日本語能力の向上並びに日本文化に対する理解を深めます。
また、高知の地域文化に触れ、体験活動を通して、日本語・日本文化研修留学生の目線から地域振興にも貢献できる人材育成をめざします。

※単位認定について

学期（2学期制）毎に単位認定を行ってます。

1) 研修・コース科目の特徴

留学生は、必修科目に加え、個人の学習・研究テーマに合わせて共通教育科目や学部専門科目から授業を選択することができます。

2) 研修・コース開設科目

I) 必修科目・内容

日本語Ⅱ（2コマ／週）・・・上級日本語
日本事情Ⅲ・・・日本の文化を学ぶ
異文化理解・・・日本人学生との共修
現代日本語読解研究・・・読解力の育成
外国語としての日本語演習・・・

日本人学生との共修

日本語Ⅲ（2コマ／週）・・・上級日本語
日本事情Ⅳ・・・日本の文化を学ぶ
地域文化理解・・・地域の文化を学ぶ
日本語メディア論・・・

メディアを通して日本語を学ぶ

日本語オーラルコミュニケーション・・・

コミュニケーション力の育成

II) 選択科目・内容

日本語Ⅰ（2コマ／週）・・・上級日本語
日本事情Ⅰ・・・日本文化を学ぶ
日本語メディア論演習・・・上級日本語
日本事情Ⅱ・・・日本文化を学ぶ
日本語特別演習・・・日本語文法を学ぶ
外国語としての日本語・・・

日本人学生との共修

外国語としての日本語基礎論・・・

日本人学生との共修

3) 地域見学・地域交流等

必修科目の「地域文化理解」は体験型授業として設定されており、地元住民との交流を通して地域の文化を体験し、理解するとともに、日本人学生との共修の中で、地域課題・地域振興を考えるような内容構成となっています

4) 日本人学生との共修

「異文化理解」「外国語としての日本語演習」「地域文化理解」等、複数の科目で日本人学生と共修します。

～ 国際連携推進センター開講科目 ～

国際連携推進センターでは、「日本語能力試験」N2程度の者に対する日本語総合コースの授業(単位不認定科目)を開講しています。日本語・日本文化研修留学生のうち、日本語能力が不十分で、日本語総合コースの受講を必要とする者は受講することができます。

国際連携推進センターによる日本語総合コース(日本語補講)で開講している科目は以下の通りです。

- ≪日本語総合コース授業科目≫
- 中級聴解Ⅰ&Ⅱ(30時間×2)
 - 中級会話Ⅰ&Ⅱ(30時間×2)
 - 中級漢字・語彙Ⅰ&Ⅱ(30時間×2)
 - 中級読解(30時間)
 - 中級作文(30時間)
 - コミュニケーション日本語Ⅰ&Ⅱ(30時間×2)
 - 高知文化事情(30時間)

⑪ 指導体制

コース責任教員：国際連携推進センター長

コース担当教員：国際連携推進センター教員
人文社会科学部教員

研修留学生指導教員：各研修留学生に担当の指導教員が設けられ、必要に応じて個別指導を行います。

■宿 舎

朝倉キャンパスには、留学生専用宿舎がないため、多くの留学生が民間アパートに入居しています。家賃20,000円～45,000円のアパートに入居している留学生が多いです。
※初期費用として月額家賃の4か月分程度が必要です。

民間アパートに入居するには、多くの場合、連帯保証人が必要です。保証人を見つけられない留学生のために、高知大学が機関保証を行う制度があります。

この制度を利用するためには、財団法人日本国際教育支援協会が提供する「留学生住宅総合補償」という保険に加入することが必要です。

※留学生住宅総合補償

<http://www.jees.or.jp/crifs/index.htm>

女性の方で寮を希望する場合は、単身用女子寮に入居できることがあります。

【単身用女子寮】

寮費：約 7,500円/月

設備：机・椅子・ベッド・ロッカー・本棚・
共同自炊設備・共同バス・トイレ

場所：キャンパスから寮まで自転車で10分

キャンパス周辺は、食料品店や飲食店が多くあり、生活に便利な場所です。

■修了生へのフォローアップ

修了後もメールなどで連絡を取り合い、研修留学生が協定校出身者の場合は可能であれば教員が協定校を訪問し、留学後の学習状況について懇談を計画しています。

■問合せ先

<担当部署>

高知大学 研究国際部国際交流室留学支援係

住所 〒780-8520

高知県高知市曙町2-5-1

TEL +81-88-844-8145 (直通)

FAX +81-88-844-8718

E-mail kr03@kochi-u.ac.jp

<ウェブサイト>

高知大学国際交流ホームページ

<http://www.kochi-u.ac.jp/international/>

高知大学ホームページ

<http://www.kochi-u.ac.jp/>